

県民の皆様へ

今年、県内3例目となる、7月4日に県内で発生しました豚熱につきましては、関係機関の皆様の御理解と御協力のもと、徹底した防疫措置を進めてまいりました。その結果、昨日、7月21日をもって、3回の消毒を含め全ての防疫措置が完了いたしました。

今回の防疫作業に当たりましては、全国初の選択的殺処分を実施し、複雑な防疫措置になりましたが、農林水産省の御指導を頂きながら、円滑に実施することができました。夜間を中心にした作業になり、県の職員はもとより、多くの関係団体の皆様に、多大なる御尽力を頂きました。過酷な現場で作業に当たってくださった全ての関係者の皆様に、感謝申し上げます。

また、地域の皆様には、このたびの防疫措置について格別の御理解、御協力を賜りましたことに対し、心より御礼申し上げます。

養豚業は本県農業の一翼を担う重要な産業の一つです。県といたしましては、発生農家の方への経営再建に向けた支援に取り組むとともに、県内の養豚農家に対して、6月議会で可決された発生予防対策を着実に実施し、発生予防対策を強化してまいります。

なお、県民の皆様には、今回の豚熱発生により、不安を抱かれた方も多かったと思います。しかし、豚熱は豚やイノシシの病気であり、人に感染することはありません。また、感染した豚が市場に流通することもなく、県内で販売されている豚肉はこれまでどおり安全ですので、安心してお召し上がりください。

今後とも、関係機関と一層連携を密にし、豚熱の防疫体制を強化することで再発防止に努めてまいります。

引き続き、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和8年7月22日
静岡県知事 鈴木康友